

# 「指導と評価の一体化」のための

## 学習評価に関する参考資料（中学校 音楽）の活用ガイド

本ガイドは国立教育政策研究所の参考資料をもとに、先生方が授業を行うに当たり検討する、指導と評価の計画立案の参考となるよう、神奈川県教育委員会・市町村教育委員会の指導主事の協働で作成したものです。

### ○掲載項目（事例2）

- 1 題材の目標
- 2 各観点の評価規準の作成について
- 3 題材の評価規準の設定
- 4 指導と評価の計画
- 5 観点別学習状況評価の進め方
  - ①～⑦主体的に学習に取り組む態度の評価
  - ⑦指導に生かす主体的に学習に取り組む態度の評価

掲載事例以外の題材でも、本ガイドに掲載されたポイントを参考に、日々の学習指導と評価の充実に向けた授業改善に努めましょう！

### ○活用ガイドのポイント

- ・観点別学習状況評価の進め方を詳しく解説（1～5）
- ・主な学習活動と評価方法及び評価のポイント（①）
- ・教師チェックリストと振り返りを用いた例（②、③、④、⑤）
- ・「努力を要する」状況の生徒への手立てについて図解（⑥）
- ・指導に生かす評価について図解（⑦）

# 中学校 音楽科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P61～67

## 音楽科 事例2

キーワード 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

### 題材名

「楽器の音色の違いを感じ取り、三味線の特徴を理解して演奏しよう」(第2学年)

### 内容のまとめ

【第2学年及び第3学年】

「A表現」(2)器楽 及び 【共通事項】(1)

## 1 ※題材の目標

※単元ではなく題材

- (1) 三味線の音色や響きと奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 三味線の音色や長唄の旋律(節回し)、リズム(間)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。
- (3) 三味線の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

## 2 各観点の評価規準作成のポイントについて～中学編～

### ○「知識・技能」

- ・「技能」については、「B鑑賞」の題材では設定しない。
- ・その時間の中で扱わないのであれば、表記しないこともある。(知識のみの内容等)

### ○「思考・判断・表現」

- ・【共通事項】Aに関する内容は、その題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる要素(音色・速度・リズム・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成等)を選択する。

何を学ぶのか

B規準が明確になる

「評価の観点の趣旨」の内容を踏まえて作成する。

### ○「主体的に学習に取り組む態度」

- ・「楽しみながら」の部分は、「主体的・協働的」に係る文言であり、「楽しみながら」取り組んでいるかを評価するものではない。
- ・文頭部分には、その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとするために必要となる、興味・関心をもたせたい事柄に関して記載する。

よく吟味をする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 三味線の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p><b>技</b> 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p>	<p><b>思</b> 三味線の音色や長唄の旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p><b>態</b> 三味線の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>

第1時から第4時までの、本題材の学習活動への取組状況について、総括的に評価することとしている。(記録に残す評価としては第4時)

※作成手順は「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料の「第2編「内容のまとめりととの評価規準」を作成する際の手順」を参考にしてください。

## ☆評価場面を精選することが大切

時間	◎ねらい ○主な学習活動	評価規準(評価方法)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	◎三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、三味線の音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりについて知るとともに、三味線の音色や奏法への関心をもつ。 ○実際に音を出して試すなどして、三味線の音色への関心をもち、三味線の音色や響きと楽器の構造との関わりについて知る。			行動観察
2	◎三味線の奏法を生かして長唄「鳥羽絵」の一節を演奏しながら、音色や響きとの関わりについて理解する。 ○三味線の「スクイ」と「ハジキ」の奏法を身に付ける。 ○三味線の音色や響きとの関わりについて理解したことをまとめる。	知 (観察) (ワークシート)		
3	◎三味線の音色や奏法を生かして、長唄「鳥羽絵」の一節をどのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ○長唄について知り、長唄の発声を体験する。 ○三味線の音色に気を付けて、長唄にふさわしい演奏に近づけるためにはどのように演奏すればよいの追求し、思いや意図をもつ。		思 (観察) (ワークシート)	
4	◎三味線の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、本題材の学習を振り返りながら学習活動に取り組むとともに、三味線の演奏に必要な技能を身に付ける。 ○長唄「鳥羽絵」の一節を演奏する。 ○題材の振り返りをする。	技 (観察)		態 (観察) (ワークシート)

第1時にて三味線の音色や奏法への関心をもつことができるようにする

第2時から第4時のグループ活動など場面における生徒の取組の状況を観察し、ワークシートの生徒の記述を補完的に扱う

【態】は最後の時間

第1時において三味線の音色や奏法への関心をもつことができるようにした上で、第2時から第4時のグループ活動などの場面における生徒の取組の状況を観察し、ワークシート【毎時間の振り返り】の生徒の記述を補完的に扱いながら、第4時に総括的に評価します。

①評価規準「主体的に学習に取り組む態度」の評価例

三味線の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

②評価の方法と生徒を見取る際のポイント

「三味線らしい音色で、長唄の雰囲気表現できているか」の観点で、自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりしようとしているかを評価します。

※ここではワークシートを例に取り上げているが、教師が評価方法を工夫し、評価を指導に活かしていくことが大切。

# ① 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

## ○主な学習活動と評価方法及び評価のポイント

「おおむね満足できる」状況 **B**  
 <観察>

	主な学習活動	評価のポイント
第1時	・実際に音を出して試すなどして三味線の音色を知覚・感受し、三味線の構造や奏法を知るとともに、体験しながら三味線への関心をもつ。	※第1時において、三味線の音色や奏法への関心をもつことができるようにした上で、2時間以降、観察をする。
第2時	・互いに助言し合うなどしながら、長唄「鳥羽絵」の一説を演奏するために必要な基礎となる奏法を身に付け、「ぬらりくらり」の部分を演奏する。	長唄「鳥羽絵」の一節を演奏するために必要な基礎となる奏法を、他者に助言をしたり他者からの助言を参考にしたりしながら身に付けようとして取り組んでいるか。
第3時	長唄にふさわしい演奏に近づけるためにはどのようにしたらよいかをグループで話し合うなどして、器楽表現を創意工夫する。	長唄にふさわしい器楽表現にしようと、グループで話し合って工夫しているか。
第4時	三味線の演奏に必要な技能を身に付け、「ぬらりくらり」の部分をグループ同士で互いに演奏し合う。	「三味線らしい音色で、長唄の雰囲気表現できているか」の観点で、自分の演奏を振り返ったり、他のグループの演奏を聴いて感想を伝えたりしている。

B規準を明確にすることで、信頼性、妥当性のある評価につながる。

## ② 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

### ○評価方法の例

第3時から第4時

自らの学習を調整しようとしているかを可能な範囲で観察



(教師用チェックリスト)の  
「自己調整しようとしている様子」の欄に記録する。

改めて、粘り強く取り組んでいるかどうかを観察し、記録するとともに、自らの学習を調整しようとしているかについても可能な範囲で観察し、記録する。

第2時

全ての生徒について、粘り強く取り組んでいるかどうかを観察し、<教師用チェックリストの「粘り強く取り組んでいる様子」の欄に記録する。

おおむね満足できる

努力を要する

適切な指導や助言

○学習内容に高い関心を持ち、積極的に他者と関わりながら、粘り強く取り組んでいる

空欄 おおむね満足できる

△観察だけでは不十分

<教師用チェックリスト>

	取組状況			取組状況	
	粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子		粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子
生徒1	○	○	生徒14		
生徒2		他者の助言を聞き入れようとしな	生徒15	ややあきらめがら	
生徒3	奏法を身に付けることに消極的	△	生徒16	○	△

ワークシートを確認



# ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

教師用チェックリストと、毎時間の振り返りから「おおむね満足できる」状況(B)と判断できる例

## 【生徒14の毎時間の振り返り(ワークシート)】

振り返りに何を書くのか子どもたちと共通理解することも大切。

### 教師用チェックリスト内容

	取組状況	
	粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子
生徒 14		△
生徒 15	ややあきらめがち	
生徒 16	○	△

生徒15「努力を要する」具体的な状況について、改善が見られた場合は、取り消し線で消し、「おおむね満足できる」状況と判断する。

生徒14【粘り強く取り組んでいる様子】は「おおむね満足できる」(B)と評価した。→空欄

生徒14【自己調整しようとしている様子】は「観察だけでは判断が不十分」であったので、第4時の振り返り内容を見とることとした。

【毎時間の振り返り】次の点について、毎時間の自分の学習を振り返ってみましょう。  
(評価の日数) できた…4 どちらかといえばできた…3 どちらかといえばできなかった…2 できなかった…1

	本題材の学習の振り返り	評価	評価の理由
第1時	三味線の音色や奏法に関心をもち、音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知ることができましたか。	2	よかった点やできなかった点、改善点や次への見通しなどを書きましょう。 三味線を実際にさわってみたのは楽しく積極的に取り組めたけど、音色と奏法の関係についてはよく分からなかったから
第2時	演奏に必要な奏法を生かして、三味線の音色や響きと奏法との関わりについて理解することができましたか。	3	最初は、スワイができなかったけど、友達のアドバイスでうまくできるようなになりぬろりくろも大体弾けた。はちの俵、か三味線らしい音になることがわかった。
第3時	三味線の音色や奏法を生かして、長唄『鳥羽絵』の一節の表現を工夫することができましたか。	4	模範演奏を何度も聴きながら、友達と熱心に話し合っ、間の取り方などを工夫することができたから。
第4時	三味線の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、演奏に必要な技術を身に付けて、長唄『鳥羽絵』の一節を演奏する活動に運んで取り組むことができましたか。	4	アレアアと同じで演奏するときばかり、緊張して間違えたりしたけど、三味線のいろいろな音色が奏法の違いで生まれることが分かり、三味線に興味をもてたから

よくわからない状態

三味線らしい音を感じることができた状態

奏法の特徴を修得し、自己調整ができている状態

理解できたことや、興味が高まったことなどを書いており、自らの状況を適正に捉えられていることから、「おおむね満足できる」(B)と評価できる。

※観察の記録については、学級名簿や座席表などを利用して行うことも考えられる。ここでは教師用チェックリストを利用した記録の例を紹介している。

## ④ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

教師用チェックリストと、毎時間の振り返りから「十分満足できる」状況(A)と判断できる例

## 教師用チェックリスト内容

	取組状況	
	粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子
生徒 14		△
生徒 15	ややあきらめがち	
生徒 16	○	△

生徒16【粘り強く取り組んでいる様子】は「十分満足できる」と評価した。→○

生徒16【自己調整しようとしている様子】は「観察だけでは判断が不十分」であったので、毎時間の振り返り内容を見とることとした。

## 【生徒16の毎時間の振り返り(ワークシート)】

【毎時間の振り返り】次の点について、毎時間の自分の学習を振り返ってみましょう。  
(評価の目安) できた…4 どちらかといえばできた…3 どちらかといえばできなかった…2 できなかった…1

	本題材の学習の振り返り	評価	評価の理由
第1時	三味線の音色や奏法に関心をもち、音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知ることができましたか。	4	よかった点やできなかった点、改善点や次への見通しなどを書きましよう。 三味線らしい音色の秘密は「サワリ」という部分に関係していることが分かったから。次の時間から三味線を弾くのが楽しみたい。
第2時	演奏に必要な奏法を生かして、三味線の音色や響きと奏法との関わりについて理解することができましたか。	3	ぼちのまのところがしかり止めたほうが、力強く三味線らしい音に聞こえることがわかった。スワイヤハジキを使うと響きが変わったので、次回は奏法の違いをもっと意識して、三味線らしい音で演奏したい。
第3時	三味線の音色や奏法を生かして、長唄『鳥羽輪』の一節の表現を工夫することができましたか。	3	独特なリズムは自分から覚悟していたけれど、三味線と歌の旋律が似ていたのど一体感が出せている模範演奏を参考に、三味線と歌を同じくらい大きくて演奏することによって、一体感が出せるようにしたい。
第4時	三味線の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、演奏に必要な技量を身に付けて、長唄『鳥羽輪』の一節を演奏する活動に進んで取り組むことができましたか。	4	グループ同士での演奏がうまくでき、工夫がうまくなったから。演奏してみると、三味線の弾き方で雰囲気が出た。と思った。三味線から出る日本らしい音は響きにあると感じるようになった。

改善点に気づいて次への見通しがもつことができています

できたこと、改善点、どうやって改善していくか次への見通しがもつことができています

生徒16 毎回の振り返りで自らの改善点や次への見通しなどを適切に書いている。  
→「十分満足できる」状況(A)と判断した。

## ⑤ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

調整しようとしているか

教師はグループ活動の場面において必要な指導をし、個々の生徒の状況を観察する。しかし、すべての生徒の状況を観察のみで把握することは難しい。

一体的に指導・評価する。

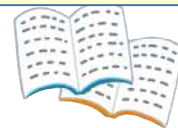
粘り強く取り組んでいるか

すべての生徒が粘り強く取り組んでいるかどうかを観察して見取る。

生徒の毎時間の振り返り(ワークシート)

自己評価の結果がそのまま学習評価に結び付くものではない。

- ・生徒が自らの状況を適正に捉えることができるか。
- ・よかった点や改善点などに気付いているか。
- ・次の学習に見通しをもっているか。



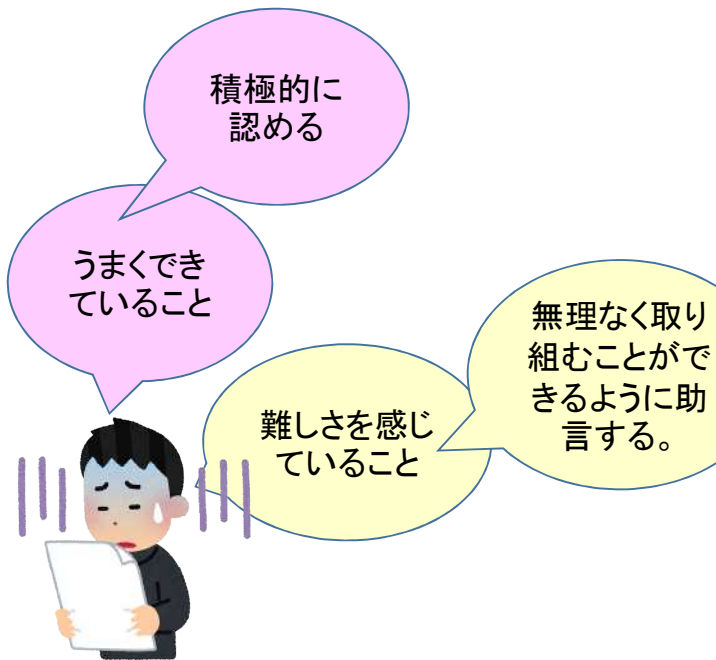
教師用チェックリスト  
や座席表等

参考資料P65参照

「努力を要する」(C)状況と判断される場合は、適切に指導し、その後生徒が調整しようとしている姿が見られるようにする。

## ⑥ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「努力を要する」(C) 状況と判断される場合の指導(例)



楽器表現を創意工夫することに向かっていない場合  
 →音色や間の取り方に注意しながら模範演奏を聴くことをすすめる。  
 →気付いたことについて話しながら、工夫できそうなポイントを活用させ、学習の進め方に見通しが持てるようにする。



毎時の振り返りで適正な自己評価ができていない場合  
 →記述内容の確認をする。  
 →質問したり、記述内容を見返すように助言する。  
 →ねらいに沿った振り返りができるようにする。

# ⑦指導に生かす「主体的に学習に取り組む態度」の評価

